

## 統計の国際交流：マハラノビス博士のことなど

インド第二の巨大都市カルカッタの市の中心部からフーグリー川に沿って、雑然と広がって混雑する市街地をつっ切るように一時間近くも北上し、何の変哲もない街区を横に入ると、突然、光を浴びて輝く樹木と咲き競う大振りの花と水鳥がゆったりと遊ぶ池が目の前に現れます。伝統あるインド統計研究所です。

この研究所は、国勢調査や経済計画など統計の応用や政策にも深く関わってきており、さらに工学、農学、地球科学など広範な分野にわたる研究と大学院レベルの教育を行っています。研究者やラオ所長と意見交換をしているうちに、マハラノビス博士の今に続く影響力の大きさを改めて認識しました。話の随所で博士の名前に言及されました。また、その年1993年は生誕100年目にあたり、多彩な記念行事が進められていました。

マハラノビス博士は、物理学から出発して、統計学、経済発展論の権威として国際的に令名を馳せました。また、博士の提唱する経済計画理論は、1956年に始まる第二次インド経済五ヵ年計画として実現しました。その後の経済運営は、インドと日本とではやや違った方向をたどりましたが、経済計画については日本はこれを大いに学び、実行に移しました。戦後の経済発展の一つのてこを、日本は、博士に負うところが大きいのです。

私自身、かつて統計手法をすこしばかりかじっていた頃、増山元三郎博士の著書などからマハラ

ノビス博士の業績の一端に触れました。その後、産業政策に携わる中で、経済計画論の実践者としての博士の活動を知りました。

博士はカルカッタの出身で、そこに自分の分身である統計の大樹を息長く育てようとしてインド統計研究所を設立したのだと、私は勝手に想像しています。カルカッタのあるベンガル地方は、インドの中で、なぜか日本人をより身近に感じさせるものがあります。カルカッタ大学都市経済研究所でダスグプタ所長とともに懇談に参加してくれた7～8人の主として女性の若い研究スタッフとの議論は、日本の景気、コンピュータ産業の盛衰、日米半導体摩擦に始まり、日米間の心理的葛藤、サセックス大学のドーア教授の日本分析の評価、ガット交渉での日本の立場、家族制度の変化、国民の労働觀におよび、はてはタゴールと岡倉天心の関係、サタジット・ライや溝口健二・小津安二郎の映画論、新しい映画作家、シュミットの映画「ミシマ」、三島由紀夫と現代の自殺に至りました。ベンガルの長く豊かな文化の中に育ち、穏やかですが強い好奇心をもって、日本のあらゆる分野に関心を持つ彼らとの会話は、ときとしてたじたじさせられて汗をかきましたが、心地よい緊張と充足感に満ちたものでした。海洋性の気候からくる風土的な親近感を含めて、インドと日本との心理的な距離がずっと縮まるのを感じます。

インド統計研究所は、アジア経済研究所とは長

アジア経済研究所

理事 川 口 融

い縁があります。アジア経済研究所からは、これまで、何人の研究者が留学生として、また客員研究員として、インド統計研究所に学びました。インド統計研究所からもさまざまな形で研究者がアジア経済研究所を訪れています。

アジア経済研究所が、その創設以来、一貫して統計を重要な分野と位置づけ、力を注いできたことと無縁ではないと思います。統計を整備して広く共有し、的確に評価をして現実の政策に生かすという一連のループは、経済開発にとって不可欠の重要な装置です。日本の経済発展の経験もこのことをよく示しています。日本の場合には、この他に、統計的手法が、品質管理(QC)に代表されるように、産業の生産性向上の重要な担い手となることによって経済発展に二重に寄与したといえるでしょう。

アジア経済研究所は、統計の収集、整備をはじめとして、アジア国際産業連関表の作成、計量経済モデルによる短期、長期の予測等、統計に関するさまざまな仕事を行っています。そのうちかなりの部分を海外の諸機関との共同研究の形で行っています。その過程では、専門家が頻繁に往来する必要がありますが、最近は、インドネシア、フィリピンなどの専門家を長期間招聘して、産業連関表のグループに入ってくれて毎日一緒に仕事をする本格的な混成チームの編成も行っています。

それが思ったよりずっとうまくいっているのです。人を得たことが一番の理由ですが、私は、統計の仕事はもともと国際化に向いているのだと思います。統計は、国際間のコミュニケーションで他にない有利性を持っています。それは、

第一に、統計の仕事で使う言葉や術語は、注釈や留保なしに、どの国の人たちにも通用することです。

第二に、そこでは、統計数値という明確な結論がまずあって、そのうえで、ニュアンスを読みとるとか記述的な情報で補完するのですが、この手順がコミュニケーションに有利だということです。

統計の仕事をしている人には当たり前すぎるこことでしょうが、他の分野からみると実にうらやましいことです。これを大いに生かして、統計を通じた国際的な輪をどんどん広げていけばいいのではないかと思います。

アジア諸国はどこでも統計にはたいへん熱心で、沢山の統計人が育っているのは、これから発展のためにも頼もしい限りです。私には、その背景に、マハラノビス博士のような偉大な先達の姿が見えるのです。

# 平成7年国勢調査 人口予想懸賞募集

問題 平成7年10月1日現在の  
茨城県の人口は?

## 応募資格・部門

茨城県内に居住または在学、勤務する方

①児童・生徒の部

小学校、中学校、盲・聾・養護学校の小学部及び中学部に在学している方

②一般の部

児童・生徒の部にあてはまらない方

## 賞品

①児童・生徒の部

1位 (1名) 図書券 10,000円分

2位 (10名) 図書券 5,000円分

3位 (20名) 図書券 3,000円分

特別賞 (100名) センサスくんテレホンカード

②一般の部

1位 (1名) オーブンレンジ

2位 (3名) コードレス留守番電話

3位 (5名) ポータブルCDプレーヤー

特別賞 (100名) センサスくん卓上カレンダー

## 募集期間

平成7年10月9日(月) 当日消印有効

## ヒント

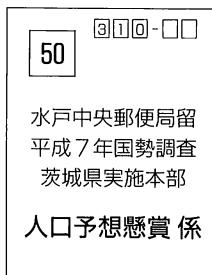
### 茨城県の人口の推移

年	人口
昭和60年	2,725,005人
平成2年	2,845,382
3年	2,877,242
4年	2,904,548
5年	2,926,752
6年	2,949,063
7年	?

注1) 各年10月1日現在

2) 昭和60年、平成2年は国勢調査、  
以後は県推計人口による。

## 応募方法



官製はがき  
(表裏面)

(予想人口)人  
郵便番号・住所  
氏名  
年齢  
職業及び勤務先  
(学校名及び学年)  
電話番号

## 発表

今年12月中旬に、茨城県発表の人口概数により  
入賞者を決定し、発表します。

## 問い合わせ先

茨城県企画部統計課・普及指導グループ  
(TEL 029-221-8111・内線2652)

## いよいよ開催!

茨 城 県

統 計 デ 一 夕 フ ェ ア

平成7年度

県統計課と県統計協会は、平成7年10月21日(土)、22日(日)の両日、土浦市霞ヶ浦総合公園で実施される「県民まつり・霞ヶ浦環境フェア」会場内で「茨城県統計データフェア」を開催します。

「統計データフェア」は、県民のみなさんに統計に親しんでいただくとともに、統計調査のしくみを御理解いただき、統計調査をよりよく行うことを目的に開催するものです。

みなさんの御来場をお待ちしております。

### ◆◆◆ 会場内の御案内 ◆◆◆

#### ◇ データでみる茨城県のすがた ◇

統計データは、社会の動きを的確にとらえ、数値としてあらわします。このコーナーでは、茨城県がどのように変化していたのかなどを統計グラフで紹介しています。

#### ◇ 統計調査のしくみ ◇

「自分が書いた調査票はどこへ行くのだろう?」「プライバシーは守られるのかな?」やっぱり心配ですよね。このコーナーでは、みなさんに御協力いただく統計調査が、どのようなしくみで実施されているのか、記入済みの調査票は集計後どうなるのだろうか等の疑問にお答えするため、統計調査のしくみをイラストで紹介しています。

## ◇ 統計の窓 ◇

### ◇ 統計調査の紹介 ◇

「国勢調査は知っているけど、他にどんな調査があるの？」といわれる方のために、このコーナーでは、県統計課が実施しているいろいろな統計調査を紹介しています。ずいぶんたくさんあると思われますか？さて、いくつ御存知だったでしょうか。

### ◇ 統計グラフコンクール優秀作品展示 ◇

昭和25年から実施されている茨城県統計グラフコンクールは、応募点数とレベルの高さで全国から注目されています。毎年、優秀作品が全国コンクールに出品され、多くの作品が入選しています。このコーナーには、県の審査を終えたばかりの今年の優秀作品が展示してあります。これらの作品の中から今年も全国コンクールで数多くが入選することでしょう。来年は、みなさんも挑戦してみてはいかがでしょう。

### ◇ 統計刊行物の展示 ◇

統計調査の結果は刊行物としてまとめられ、県の行政情報センターや市町村役場、県及び図書館等でみなさんに利用されます。すべての刊行物を展示することはできませんが、その一部を展示しました。どうぞ手にとって御覧ください。図書館等で利用されたことがある刊行物があるかもしれません。

このほか会場内には、「統計相談コーナー」「統計刊行物の頒布コーナー」などを設置しますので、日頃統計に疑問をお持ちの方や統計資料が購入したいと思われる方は御利用ください。

また、開催期間中に会場内の展示物の中から答えをさがす「統計データクイズ」を実施します。正解者の中から抽選で、宿泊ペア招待券等の賞品が多数あたりますので、みなさんチャレンジしてみてください。

統計は難しいものではありません。どうぞお気軽に御来場ください。

なお、このフェアに関するお問い合わせは、茨城県企画部統計課普及指導グループ(☎029-221-8111・内線2652)までお願いします。

会場：土浦市霞ヶ浦総合公園



- バス利用は土浦駅西口①番線より(関東鉄道)乗車。霞ヶ浦総合公園下車、公園内徒歩10分。
- タクシー利用は土浦駅東口より約10分。

# '96県民手帳

平成  
8年版

かくれたベストセラー 県民必携の生活手帳

**申込受付中**

■ポケット版

(大きさ8cm×12.5cm鉛筆付)

ねだん(1冊) **350円** (税込)

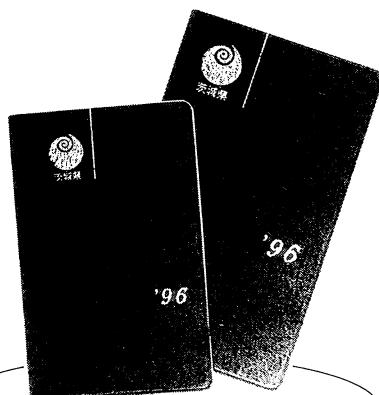
■大型版

(大きさ9cm×14.5cm)

ねだん(1冊) **470円** (税込)

編集・発行／茨城県統計協会

TEL 029-221-5505 FAX 029-288-0961



●差込式住所録付き